

医療現場におけるHIV感染のリスクは比較的低い

- 医療現場におけるリスクは、針刺しやその他の鋭利な器具を介した血液曝露によるものである。
 - 例えば、血管アクセス用カニューレやイントロデューサー、縫合針、メスなど
- HIV陽性の血液が付着した太い中空針で穿刺した場合のHIV伝播リスクは約0.3%である。
- HIV感染者の体液と正常な皮膚との接触によるHIV伝播リスクはない。
 - 皮膚損傷があり、皮膚面および粘膜への曝露の場合のリスクは最大約0.09%
 - その他の体液は感染性を有する場合がある。
 - 羊水、脳脊髄液、腹水、心膜液、胸膜液、滑液
- 伝播リスクは、血清やその他の体液中のウイルス量が多い場合に最も高くなる。